



全国的に花の便りも聞かれる季節となりました。この時期は花粉で悩まれる方も多くいらっしゃると思います。「新しい生活様式」としてマスク着用が求められる昨今の情勢。花粉対策と新型コロナウイルス感染症感染予防の二つの意味でマスクを役立てたいですね。

本号は各支部からの活動報告がメインです。どうぞ、ご覧ください。

支部活動報告

【上田支部】コロナ禍で何ができるのか

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの支部活動となりました。集まれな
い中でどのような支部活動をするのか、会員の
皆さんと考え続けた1年になりました。上田支
部では、①「zoom 入門講座の開催」②「地域づ
くり実践者オンライン対談」を実施しました。
zoom の入門講座は、会員同士がつながるツ
ールを増やすために実施しました。コロナ禍の中、
総会や役員会、地域活動でも使えるツールが増
えました。地域づくり実践者とのオンライン対

談では、上田地域を中心に活動している10名
の実践者に共通の質問をして活動の原動力や想
いを伺いました。サブタイトルが「豊かな暮らし
のために大切なこと」。実践者の言葉一つ一つ
に説得力があり、とても面白い対談となりまし
た。YouTube や Facebook 等での動画の公開、
報告書の作成等を通じて、皆さんにお伝えでき
るように会長を中心に準備しているところです。
今年度の活動を通じて、改めて「地域づくり」
について考えることができました。



【zoom 入門講座の様子】



【地域づくり実践者オンライン対談の様子】

【南信州支部】地域づくり研修会を開催

南信州支部では、地域の活力の低下が懸念されている中、地域の皆さんが持続可能な地域づくりに取り組む契機とするため、令和3年1月20日（水）に「地域づくり研修会」をオンラインで開催し、地域づくりに取り組む住民団体、市町村職員、地域おこし協力隊員など、約20名の方に参加いただきました。

研修会のメインは、株式会社エンパブリック代表取締役 広石 拓司先生による講演です。広石先生は、全国の地域づくり事業に携わっている方で、県が主催する「まちむら寄り添いファシリテーター養成講座」の講師も務められています。今回は、「住民主体の活動が拓く持続可能な地域の未来」と題し、地域活動の意味や共に活動する仲間の探し方、地域に良い変化を起こ

すためのアプローチ方法等について、他地域での参考事例を交えながらお話しいただきました。

「同じ地域を見ても、ないものを見るかあるものを見るかで違う地域になっていく」という話は、移住者の方も同じことをおっしゃっていたので、特に大切な視点だと感じました。

広石先生の講演後に少しお時間をいただき、元気づくり支援金制度の紹介も行いました。この研修会で得た知識を地域づくり活動に活かしていただき、皆さんの活動が地域の活力向上につながっていくことを期待します。



【講師の広石拓司先生】

【木曽支部】木曽支部視察研修事業を実施しました

木曽支部では、令和3年3月17日（水）に、木曽町にあるサテライトオフィスとキッチンを併設したコワーキングスペースを提供する施設「ふらっと木曽（ワークセンター木曽町）」の施設見学と、その運営に携わる木曽町の地域おこし協力隊2名の取組事例を学ぶ視察研修事業を実施しました。

「ふらっと木曽」は、「暮らしをつくる、楽しくする。」をコンセプトに、仕事だけでなく、趣味も楽しめる施設として運営されているということで、施設見学では、サテライトオフィス・コワーキングスペースとしての利用状況はもちろん、料理教室やクラフトワークショップなどの様々なイベントが実施され、地域住民の交流の場として活用されている様子などの紹介がありました。

また、施設の運営を当初から担ってきた木曽町地域おこし協力隊の坂下佳奈隊員、西尾絵里

子隊員からは、「ふらっと木曽」でのイベントの企画運営や、木曽の地域資源を活かした商品開発の取組など、これまで協力隊として取り組んできた活動について発表していただきました。

参加した支部会員からも「ふらっと木曽」の活用方法や、木曽での暮らし、地域づくりについて活発な質問や感想が出されるとともに、協力隊のお二人との交流も生まれ、それぞれの今後の活動に繋がる大変有意義な研修となりました。



【視察研修事業の様子】

【北信支部】「地域発 元気づくり支援金 事例発表会」を開催

北信支部では、令和2年12月2日（水）に令和2年度地域発元気づくり支援金活用事例発表会を北信地域振興局との共催により開催しました。

令和元年度に地域発元気づくり支援金を活用した団体の中から、事業効果に広がりが見られるなど評価の高い事業を実施した団体を、知事表彰及び北信地域振興局長表彰として表彰しました。

【知事表彰】

＜信州中野おごっそフェア実行委員会（中野市）＞

信州中野おごっそフェア

【北信地域振興局長表彰】

＜山ノ内町雪室利活用協議会（山ノ内町）＞

雪室スノーパル利活用促進事業

表彰式終了後、地域づくりネットワーク長野県協議会・県協議会北信支部の団体や活動内容などを紹介し、参加者に同協議会の周知を行うとともに、会員募集を呼び掛けました。

続いて受賞団体による事例発表会を行い、知事表彰の「信州中野おごっそフェア実行委員会」

からは、中野市の食や農産物をPRするために、地元食材を使ったメニューの提供や農産物の販売などを行うイベント「信州おごっそフェア」について発表していただきました。

北信地域振興局長表彰の「山ノ内町雪室利活用協議会」からは、町内に設置した雪室の認知度を上げて利活用につなげるために、雪室で保存した農産物の販売などを行う「雪室コンビニ」の取り組みなどについて発表していただきました。

新型コロナウイルス感染予防対策でさまざまな制限のある中、約30人にご参加いただき、様々な視点から地域の課題解決に向けて取り組む皆さんの活動を知っていただく良い機会となりました。



【受賞団体の皆さん】

令和3年度地域づくり全国協議会助成事業

地域づくり団体全国協議会では地域づくり団体活動支援事業、クラウドファンディング活用支援事業を募集しています。

申請期間は両事業とも令和3年12月31日までですが、全国協議会の予算に達した場合は締め切りとなりますので、希望される団体は早めの申請をお勧めします。

申請書の提出・お問い合わせは支部事務局までお願いします。

※助成は一般財団法人地域活性化センターの賛助会員限定です。賛助会員への登録を希望される方は支部事務局までお問い合わせください。（年会費3,000円）

地域づくり団体活動支援事業		地域づくり団体クラウドファンディング活用事業	
対象事業	地域づくりのために講師等を招聘して開催する研修会事業等	対象事業	地域づくりのためにクラウドファンディングを活用する事業
助 成 額	最大150,000円	助 成 額	目標額の25%または250,000円の低い方の額

地域づくり団体活動支援事業の令和2年度の活用事例は以下のとおりです。

支部	団体名	事業内容	助成額
諏訪	原村ねこの手サービス運営委員会	テーマ：簡単な呼吸とストレッチで！自分ができる！ストレス・うつ改善法～コロナ禍の今、自律神経を整えて免疫力アップ！コロナ太り解消！～ 講 師：JPMI 予防医学療法研究会 理事長 ジョーブライト 氏 副理事長 ナナブライト 氏	71,200 円
木曽	木曽子育てまちづくりの会	テーマ：こどもがまんなかプロジェクト～地域から教育を考えよう～ 講演会&映画「Most Likely To Succeed」上映会 講 師：王滝村立王滝小学校講師 田中 千央 氏 池田町教育委員会教育長 竹内 延彦 氏	54,180 円
長野	長野市大岡地区住民自治協議会	テーマ：小規模多機能自治の考え方を学ぶための研修会 講 師：IIHOE 代表 川北 秀人 氏 長野市市民協働サポートセンター長 阿部 今日子 氏	128,320 円
合計 253,700 円			

御相談は各支部へどうぞ

全国協議会への助成事業申請などの相談は各支部までお寄せください。

<支部連絡先>

佐久支部	☎0267-63-3132	木曽支部	☎0264-25-2212
上田支部	☎0268-25-7112	松本支部	☎0263-40-1902
諏訪支部	☎0266-57-2901	北アルプス支部	☎0261-23-6501
上伊那支部	☎0265-76-6801	長野支部	☎026-234-9501
南信州支部	☎0265-53-0401	北信支部	☎0269-23-0201

